

## 2023年度（令和5年度）事業報告

児童養護施設 山家学園

### 1 施設を取り巻く現状と課題

#### (1) 事業の種類及び利用定員

- ① 施設入所事業 定員 24 名
- ② 子育て支援短期利用事業 定員 6 名

#### (2) 区市町村等からの受託、補助事業等

- ① 由布市要保護児童見守り強化事業  
1 家族 7 名分の弁当配布と相談見守り毎週水曜日実施
- ② 由布市ファミリーサポート事業  
のべ 39 件 援助会員向け研修会実施（6/28）

#### (3) 地域における公益的な取組

- ① 神社清掃活動 小野屋観音（9 月・10 月）
- ② 地域住民としての区の活動 蛇口地区祭参加 古紙回収協力

#### (4) 運営方針

地域で生活する子育て世帯への支援強化や社会的養護出身者への自立支援の拡充、子どもの意見・意向表明や権利擁護を図る環境整備を行う中、児童養護施設として、入所する子どもの権利擁護のため、チームケアを念頭に、チーム会議やOJTを通して日常的な支援体制のチェック機能を果たすよう努めました。また、学期に1回（年間3回）の子どもアドボケイトの導入により、子どもの意見・意向表明の支援を行っています。施設出身者の継続的なアフターケアについては、児童アフターケアセンターなど関係機関と連携し、相談できる体制を整えています。施設の高機能化・多機能化の取り組みとしては、由布市からの委託事業として、由布市要支援児童等見守り強化事業7名家族1件の弁当配布と相談支援及び由布市ファミリーサポートセンター事業を実施しています。ショートステイ事業については、新たに豊後大野市との契約を行い、由布市受託事業による人員配置増によりショートステイ棟を活用した受入れが可能となったことにより、利用件数の増加ができています。また、専門職による内部研修や児童相談所との連携による研修参加により、増加傾向にある、重篤な背景を持ち支援に専門性が求められる子どもの入所をも受け入れ、入所定員を満たすことができています。

## 2 施設の実施策と取組の方向性

### (1) 職員が働きやすくやりがいを感じられる職場づくり

ア 福祉・介護業界のイメージアップを図り、多様な働き方を推進する。

実施施策	各種休日の取得しやすい労働環境 (達成度 80%)
現状と課題	年次有給休暇の計画的取得は、可能となってきたが、その他生活に応じた休暇の取得については、進んでいない。
取組の方向性	各種休暇の周知を進め、個々の生活スタイルに合った休暇の取得をしやすい環境づくりを行う。
取組の結果	男性育児休暇・生理休暇の取得を実施。年次有給休暇については平均 11.6 日平均消化率 49.1%であった。

イ OJT 制度を中核に職員一人ひとりを育成し、チームケアを推進する。

実施施策	小舎化による職員の孤立化の予防 (達成度 85%)
現状と課題	1 ユニットに対し 1 職員の支援体制により、現場での相談体制がとれず、支援に対する迷いや、対応についての不安感の増大が課題となっている。
取組の方向性	全体や一部でのケース検討の場を多くもち、支援の質の向上と職員の孤立化を防ぐ。
取組の結果	ユニット会議の随時開催、それを受けてのケース検討を行い個々の職員が発言しやすい会議運営を行うことで支援の孤立化を防いだ。

ウ 職場風土を改善し、職員の定着率とモチベーションを高める。

実施施策	互いに助け合い高め合う風土づくり (達成度 70%)
現状と課題	互いの業務内容に関心をもつ余裕がなく、理解に欠ける面が見られることで、互いを思いやり助け合う意識が薄くなっている。
取組の方向性	常に情報交換を行い、業務内容を共有するこ

	とで、互いに助け合い、全体の業務を効率的に質の高いものにしていく。
取組の結果	行事・業務表の共有を日常的に行うことで互いの業務内容を把握し助け合う意識をもって業務にあたった。

エ 業務の生産性を高め、ワークライフバランスを推進する。

実施施策	効率的に業務遂行し、個々の生活に沿った各種休暇の取得を推進する。（達成度 80%）
現状と課題	業務の優先順位の組み立てや時間配分について、計画に曖昧な面が多く見られることにより、休暇取得を計画する余裕がもてない傾向にある。
取組の方向性	勤務時間の時間配分について、日・月・季節・年毎の計画を個々で行い協力体制も作ることで効率的な業務に取り組み、個々の生活に沿った休暇の取得を躊躇なく行える周囲のフォロー体制も構築していく。
取組の結果	各分野の業務計画を全体に提示することで、互いの業務を理解し助け合い効率良く進めることにより、各種休暇の取得しやすい環境づくりを行った。

(2) 利用者児の生活を支えるサービスの質の向上

ア 先進的で魅力あるサービスを提供し、サービスの質を高める。

実施施策	子どもの権利擁護と意見・意向表明支援の充実（達成度 95%）
現状と課題	子ども一人ひとりと向き合う支援体制と関係性の構築を意識して支援している。意見・意向表明支援として、子どもアドボケイトの受け入れを行っている。
取組の方向性	少人数での支援が実現している中、一人ひとりの関係性をより深く築くことを大切に支援し、子どもの意見・意向表明支援として、子どもアドボケイトの積極的受け入れと支援の

	充実を図る。
取組の結果	子どもアドボケイトの学期に1回（年3回）の受入れと連携により意見・意向表明支援を充実させた。

イ 安心安全で快適な暮らしを保証し、利用者児の満足度を高める。

実施施策	小舎に対応した防災・防犯対策 （達成度 80%）
現状と課題	ユニットにおける一般家庭同等の防災対策と管理棟における大舎と同等の対策について試行錯誤を重ねている。
取組の方向性	限られた人員の中での設備の活用方法について、多方面から想定して訓練を重ね、対策について児童を含めて検討していく。
取組の結果	月の避難訓練を通して、ユニットにおける対策を作り上げ児童にも定着できるよう支援した。

ウ 施設機能を積極的に開放し、地域とのつながりを強化する。

実施施策	地域の子育て支援の拠点を目指す（達成度60%）
現状と課題	措置児童のみならず、地域に暮らす保護の必要性のある子どもとその家庭の支援が求められている。
取組の方向性	由布市と連携し要保護児童の見守り支援を行い、子どもに関する相談拠点としての役割を担う。
取組の結果	由布市委託事業にて要支援児童等見守り強化事業にて、毎週水曜日1家族7名分の弁当配布と相談・見守り支援をファミリーサポートセンター事業では、のべ39件の支援を行った。また里親レスパイト事業にてのべ26日の受入れを行った。

(3) 安定的で持続的な経営基盤の確立

ア 収入の安定確保と経費増大の抑制で、安定性の高い財務体質を維持する。

実施施策	入所定員を満たすこと、また、ショートステイ利用拡充を行う。(達成度 90%)
現状と課題	入所児童の在園期間が短く、家庭復帰等の理由で退所するケースも多く定員を満たしていないこと、また、人員配置の理由により、ショートステイの受け入れが少ない現状にある。
取組の方向性	研修参加など自己研鑽により支援スキルを向上させ、様々な入所理由にも対応できる体制をとり、入所児童を確保する。また、ショートステイの支援区域を豊肥地区へ拡充し、利用件数を伸ばす。
取組の結果	入所定員をほぼ満たし、ショートステイについては、新たに豊後大野市との契約を行っている。受入れにあたっての人員確保について、由布市委託事業に配置された職員をショートステイ受入れに配置することで、ショートステイ棟での受入れ件数の増加ができた。

イ 中長期的な視点をもって、持続性の高い経営を行う。

実施施策	施設整備について見通しを立てて進めていく。(達成度 70%)
現状と課題	施設外周の整備や旧山家学園の解体、また、収納スペースなど、整備途上にある。
取組の方向性	児童の生活環境を整えるための施設整備について、見通しを立てて計画し、それに伴う収入確保のため、入所児童及びショートステイ利用者の確保を進め、収支のバランスを追求していく。
取組の結果	旧山家学園園舎解体工事・現園舎外周整備工事を実施した。旧園舎解体工事費用は、予算以下での実施ができた。また、入所定員をほぼ満たし、ショートステイ受入れ件数の増加ができた。

ウ 組織内の連携を強化し、強固な組織体制と経営基盤を確立する。

実施施策	事業計画に対する目標設定 (達成度 60%)
現状と課題	移転後の生活はようやく安定してきているが、進めるべき設備面や多機能化への取り組みに一丸となった動きがない。
取組の方向性	設備面での整備の計画やショートステイの受け入れ、また、地域の子育て支援などの多機能化の取り組みに対して、個々の目標をもって進めていく。
取組の結果	全体で取り組むべき設備面での整備計画や多機能化の取り組みに対し、担当者の取り組みに発展はあったが、担当者以外についての取り組み方について、個々の職員でみつける事が課題となっている。

### 3 目標利用率

事業名	定員	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
施設入所事業	24	95.8	95.8	95.8	95.8	95.8	100	100	100	100	100	100	100	98.25
子育て短期事業	6	3	3	3	4	2	2	5	9	2	5	8	1	3.9

### 4 固定資産物品購入計画

(単位:千円)

名称	執行見込額
構築物外周舗装(管理棟南側)	1,496

### 5 修繕計画(大規模修繕を除く)

(単位:千円)

名称	執行見込額
畑周囲素掘り側溝工事	176
旧山家学園浄化槽汚泥引抜	486

### 6 大規模修繕計画

(単位:千円)

名称	執行見込額
旧山家学園解体工事	8,800

